

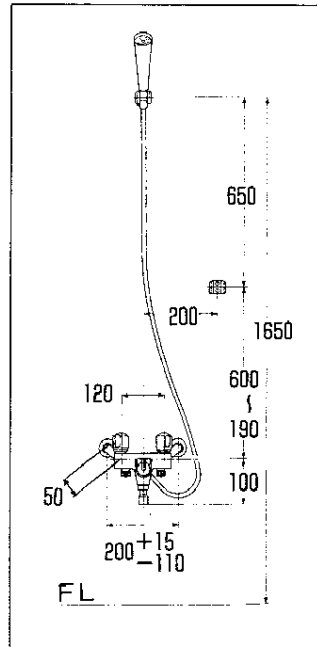
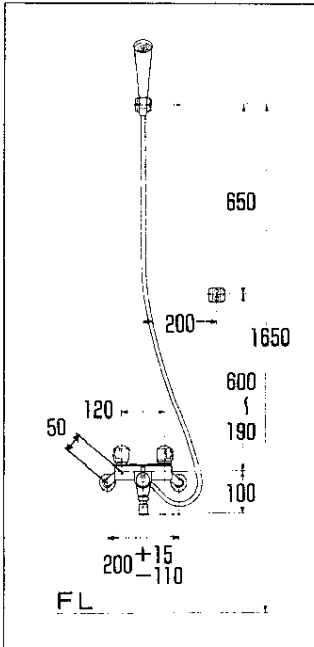
“ニューファミリーシリーズ”

2バルブシャワーバス金具取付説明書

完成図

一般用 (TMF20C)

寒冷地用 (TMF20CUZ)



- 水温の高い (25℃) 夏期に着火させることを想定。
- 能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
 - 水温の低い (5℃) 冬期に約7ℓ/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。

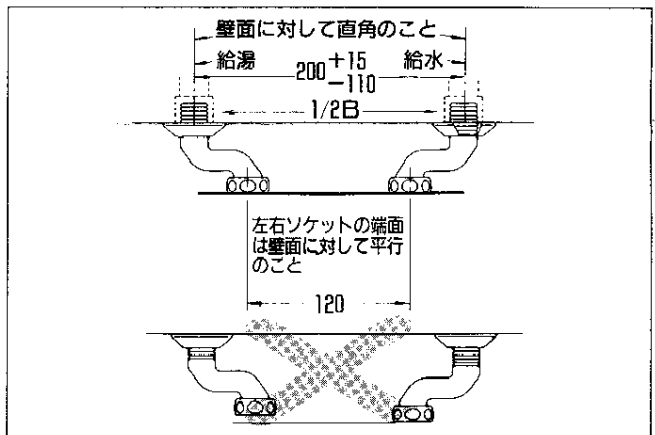
(2)貯湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05MPa (0.5kgf/cm²)
最高圧力………0.74MPa (7.5kgf/cm²)

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
- 配管後は必ず保温材を巻いてください。

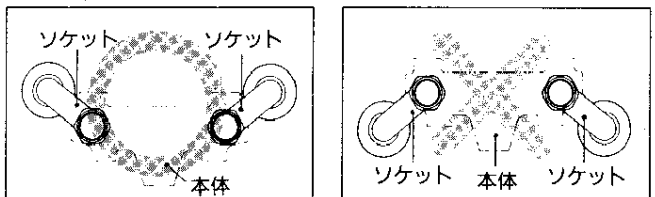
器具の取付け

- 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。
- ソケットの取付け



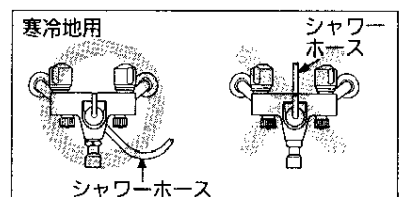
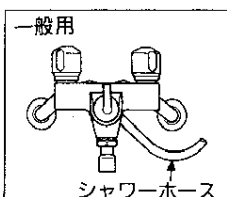
※寒冷地用の場合

器具及び配管内の水抜きができるようにソケット取付位置が必ず本体よりも上になるように施工してください。



3. シャワーホースの取付け

- 本体をソケットに接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。
- シャワーホースはソケットの下から取出してください。
- 特に寒冷地用の場合はソケットの上から取出すと水抜きができなくなります。



使用条件

1. 使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧… (下表参照)
最高圧力………0.74MPa (7.5kgf/cm²)

器具入口部における最低必要水圧 (MPa (kgf/cm²))

給湯機タイプと号数		最低必要水圧	
比例制御タイプ	能力手動切替タイプ	12号	A+0.13 (1.3)
	TOTO カスタム制御方式	10号	0.08 (0.8)
		16号	
		20号	
	TOTO トリコン制御方式 (トリコン・コンタクト・アクティ)	16号	0.07 (0.7)
		20号	
		24号	
		アクティスーパークティブ	
	TOTO ハイトリコン制御方式	21号	0.07 (0.7)
		24号	
TOTO コマンド	16号	0.08 (0.8)	
	24号		
	21号		
TOTO ハイコマンド	24号	0.07 (0.7)	

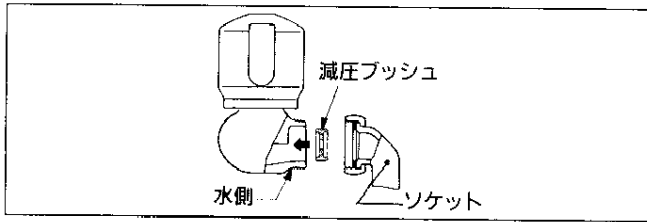
注) 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています)

(設定条件)

- 湯側ハンドル全開
 - 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
 - 比例制御タイプの出湯温度は60℃
 - シャワー吐水温度 42℃
 - 給湯配管長さ 5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。

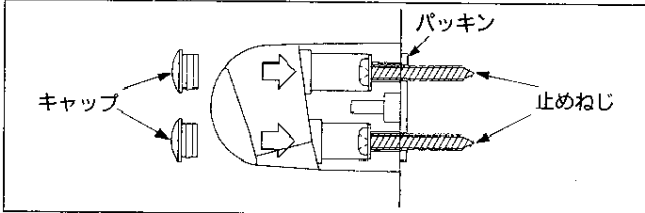
4. 減圧ブッシュの取付け

給水圧力が0.196MPa (2.0kgf/cm²) 以上の場合は、本体の給水側に、付属の減圧ブッシュをはめ込んでください。



5. シャワーハンガ取付要領

キャップ (シャワーヘッド回転防止ゴム) は、ねじ穴に確実に押し込んでください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵すため、使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。

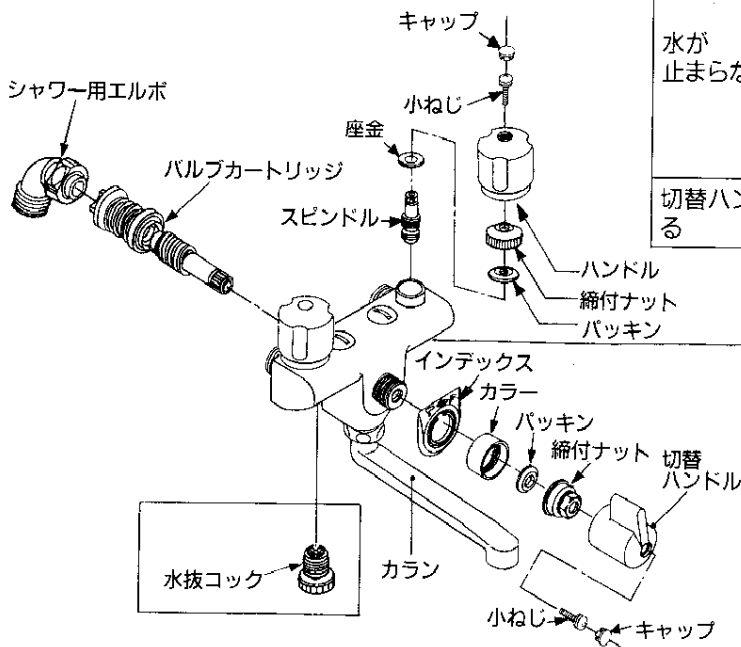
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、次の要領で水抜きをしておいてください。又、お客様にも水抜方法をご指導ください。

1. 切替ハンドルをカラン側に回す。
2. 湯・水ハンドルを開き、水側、湯側、混合室の水抜コック3カ所を開く。
3. カランから水が出なくなったら切替ハンドルをシャワー側に回す。
4. シャワーヘッドを床におき、シャワー部の水を抜く。
5. 水抜きが終わったら水抜コック3カ所をしっかりと閉める。

分解と点検

取付け後万一故障等で分解するときは、次の要領で行ってください。

□内は寒冷地用の場合



故障とその点検箇所

故障	点検箇所
水が止まらない	湯水ハンドルを閉じてても水が漏れる 湯及び水側のハンドル部を分解して“シート”及び“パッキン”のごみかみ、傷等を点検する。
切替ハンドル部から漏れる	切替部を分解しシャワー側、カラン側のパッキン及びシート部のごみかみ、傷等を点検する。
切替ハンドル部から漏れる	切替ハンドルをはずしプライヤー等で締付ナットを締め増す。

